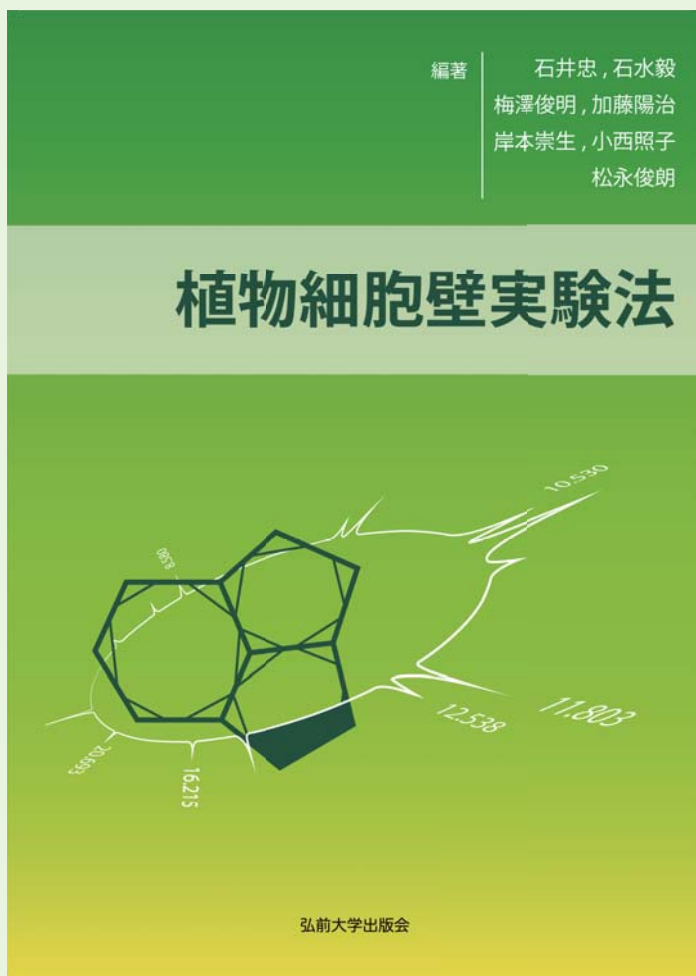


第一線の研究者が  
実験の具体的なコツや最新の手法を紹介！  
初学者から研究者まで必携のマニュアル書

# 植物細胞壁実験法



## 基礎編

- 第1章 多糖類の分析
- 第2章 機器分析
- 第3章 リグニン分析
- 第4章 イメージング

## 応用編

- 第5章 材料の作出
- 第6章 細胞壁多糖類の調製と構造解析
- 第7章 細胞壁の生合成と分解
- 第8章 植物の免疫と防御応答の分子機構
- 第9章 データベース

発行日：2016年2月24日

定価 5,940 円（本体 5,500 円＋税）

植物細胞壁は、植物に固有の組織で、植物の生命活動に必須なものである。また、バイオマス資源として地上で最も蓄積量が多く、再生産可能な資源でもある。本書は、その植物細胞壁に関する最新の実験書である。基礎編では、呈色反応など多糖類やリグニンの伝統的な分析法から、高分解能 NMR や質量分析計、電子顕微鏡などの分析機器を用いた最新の分析手法を紹介。応用編では、これらの手法を用いた多糖類やリグニンの構造解析や生合成、分解過程の研究を取り上げる。

第一線の研究者が、これから研究を始める人の立場に立って記述した本であり、植物科学・木質科学・資源科学などの分野の大学学部生や大学院生のための実験書として、また、研究者や技術者のためのマニュアルとして有用な一冊。

編著：石井忠, 石水毅, 梅澤俊明  
加藤陽治, 岸本崇生  
小西照子, 松永俊朗

ページ：404 ページ

ISBN 978-4-907192-21-1

版元：弘前大学出版会  
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地  
TEL 0172-39-3168 / FAX 0172-39-3171  
<http://www.hirosaki-u.ac.jp/hupress/>

★弘前大学出版会では直接販売を行っておりません。  
お求めの際には、お近くの書店でご注文してください。